

50th
Anniversary
作: 上北ふたご
明德義塾は2023年に50周年を迎えます。

たんぽぽ

バレーボール部、春高出場!



全国へ羽ばたけ! 明德魂!!

バスケットボール部、ウィンターカップ出場!





バレーボールの全日本高校選手権県予選決勝戦が 11 月 6 日、いの町の県立青少年体育館で行われ、22 年ぶり 7 度目の春高出場を決めました。

全国大会は、2023 年 1 月 4 日～ 8 日に東京体育館で行われます。大倉愛美キャプテン (6 特 I)「ずっと夢だった春高への出場が決まって嬉しいです。『楽勝』がクラブのテーマ。それを全国大会でも活かして一つでも多く戦い、楽しんで勝ちにいきたいと思います」

中学柔道部県選手権優勝

第 61 回高知県中学校柔道選手権大会が 10 月 2 日、高知県立武道館で行われ団体優勝、個人でも優秀な成績を収めました。

男子団体 **優勝**
男子個人

60kg 級 **優勝 泥谷洋助 (2-2)**
66kg 級 **2 位 國澤天晴 (2-2)**
81kg 級 **3 位 岡林大翔 (1-1)**



須崎市長表敬訪問



9 月 2 1 日、今年度の全国大会で上位入賞を果たした選手たちが、須崎市長を表敬訪問しました。市役所を訪れたのは、「カヌー・空手・ゴルフ・ソフトテニス・卓球・中学野球」の各クラブの生徒たち。市長に成績を報告し、大会の感想などを話しました。

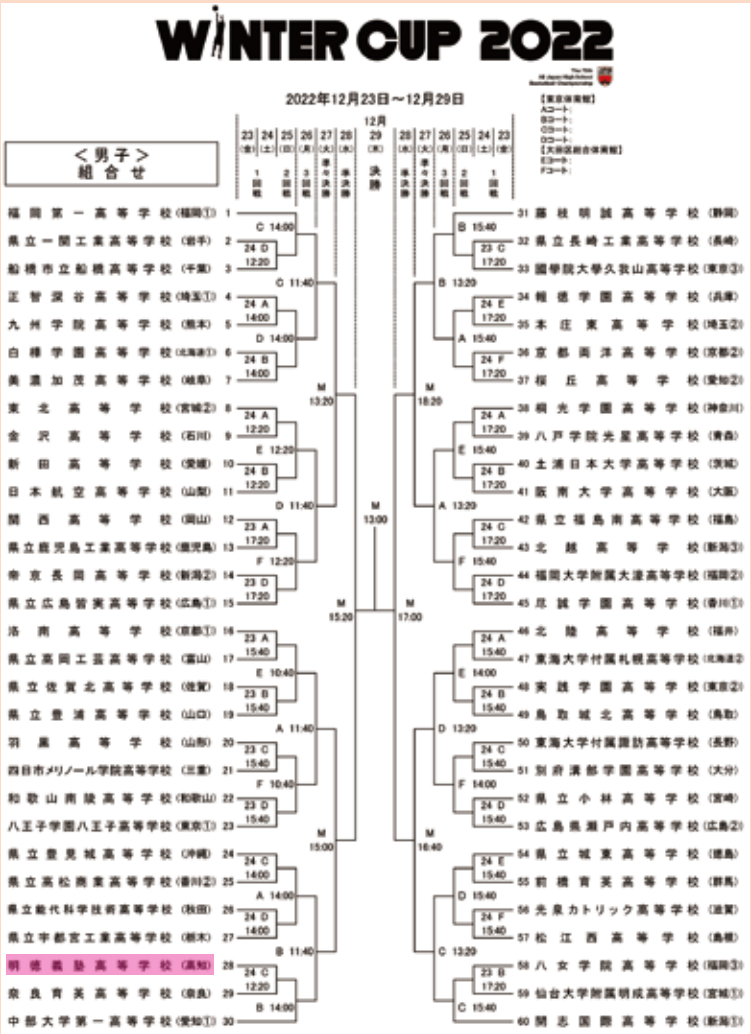
市長からは「全国の舞台上で活躍してくれていることを、須崎市としても誇りに思っています。今後の活躍も楽しみにしています」と、お言葉をいただきました。

賞状とスポーツ飲料を贈呈された生徒たちは、笑顔で受け取っていました。



バスケットボールの全国高校選手権大会県予選決勝戦が 11 月 12 日、高知市総合体育館で行われ、中央高校に 68-60 で競り勝ちウインターカップ出場を決めました。

全国大会は 12 月 23 日から東京体育館ほかで行われます。葛原駿介キャプテン (6 特 I)「今までの最高成績であるベスト 8 以上を目指します」



高校相撲部選抜大会出場へ

高知県高校相撲冬季大会、全国高校相撲選抜大会高知県予選が 11 月 13 日に行われました。

団体戦 **優勝**
個人戦 **優勝 砂坂 有哉 (4C)**
準優勝 ルブサンゴンボ (4C)
100kg 級 **優勝 ルブサンゴンボ**



ソフトテニス県中学冬季大会 優勝



ソフトテニスの高知県中学冬季大会が高知市東部運動場テニスコートで 11 月 6 日に行われ、個人戦で福見優心くん (2-2)・林寿季稀くん (1-2) ペアが優勝しました。



高知県高等学校ソフトテニス冬季大会 優勝

ソフトテニスの高知県高等学校冬季大会が東部運動場テニスコートで 11 月 20 日に行われました。

団体戦 **優勝**
個人戦 **優勝 丸田涼介くん (5D)・遠藤功一くん (5 特 I)**
準優勝 小笠原健斗くん (5C)・佐渡宝来くん (5 特 I)
第 3 位 **今西脩真くん (5 特 I)・岡悠太くん (4 特進)**



吉村優聖歩くんドラフト育成 3 位

10 月 20 日、プロ野球ドラフト会議が行われ、高校野球部の吉村優聖歩くん (6A) が巨人に育成ドラフト 3 位で指名を受けました。吉村君は「代木 (大和・44 期生) さんもいるし、レベルの高い選手がたくさんいるので、僕もみなさんに負けないよう頑張ります。明德や高知県の代表という自覚を持って、後輩の目標になれる選手になりたいです」と決意を述べました。



卓球全日本選手権団体高校女子 3 位



カヌー一部四国大会 優勝

【男子】
●カナディアンシングル **優勝 渡邊 裕征 (5C)**
準優勝 下元 悠太郎 (5D)
●カナディアンペア **優勝 渡邊・下元**
●カヤックシングル **4 位 川口 稜斗 (5C)**
【女子】
●カヤックシングル 1 年 (新人) **準優勝 ガウイン 映惟美 (4 英)**
●カヤックペア **5 位 ガウイン映惟美 津野星稀 (4 英)**
●カナディアンシングル **5 位 小原 彩香 (4D)**



とちぎ国体 カヌー一部大健闘

とちぎ国体卓球現役生卒業生大活躍



奥四万十観光大使

一般社団法人「奥四万十高知」と高知県観光振興部地域観光課による「令和 4 年度奥四万十高知留学生インバウンド観光大使事業」として、第二の故郷として高知で生活してきた本校の留学生に、高知の魅力を世界に向けて発信してもらうこと、また、彼らへの観光大使の委嘱を目的に、7 月から、奥四万十地区の数多くの魅力あるスポットや文化を学び、現地で研修を重ねてきました。留学生は、「奥四万十観光大使」として 200 枚の名刺とパンフレットを受け取り、卒業後や帰国後に世界で奥四万十の魅力を PR します。任期は 2 年間で、

ウィズコロナの社会において、以前よりも多くの外国人観光客に奥四万十地区を訪れてもらえるように、今後の観光大使の活躍が期待されます。

ラッタナヌクアーナッタヤさん (6 特Ⅱ)「私自身、魚を網で取るなど初めての経験をしてとても楽しかったです。これから高知の良い所をどんどん PR していきたいと思います」



第42回全国高校生読書体験記コンクール入賞

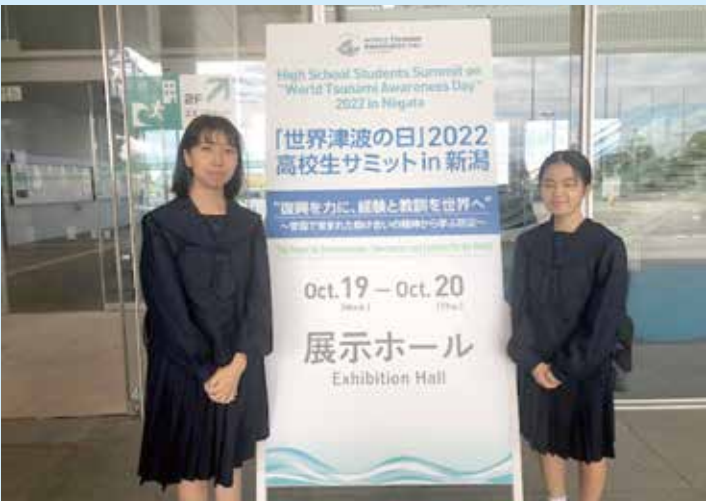


第 42 回全国高校生読書体験記コンクールで、6 B の安住元輝くん、5 特Ⅰ の山下矩明くんの 2 名が県入選に選ばれました。県入選の 5 人中 2 人が本校から選ばれ、11 月 18 日、高知新聞放送会館で表彰式が行われました。

安住元輝くん (6B)「『余命 3000 文字』村崎羯諦 余命というものを、高校生活の 3 年間に置き換えて、有限な時間の使い方について私の意見をまとめました。今回、入選という形で表彰されて、自分の文章を評価していただき、たいへんうれしく思います。また、この入賞を励みに読書を継続していこうと思います」【**わたしのイチオシ!**】にこの本の紹介があります」

山下矩明くん (5 特Ⅰ)「『建築家になりたい君へ』隈研吾 建築家になることが夢である私は、この作品を読んで人生の指標を見つけることができました。読み終えた後、いつもの景色が少し違って見えました。この本に出会わせてくれた先生に感謝しています」

世界津波サミットに参加



10 月 19、20 日に開催された 『「世界津波の日」2022 高校生サミット in 新潟』に、防災委員を務める 5 年特進Ⅰの杉本わかなさんと伊藤沙帆さんが高知国際高校とともに高知県代表として参加しました。

「世界津波の日 (11 月 5 日)」が 2015 年に国連総会で採択されてから、世界各国で防災に取り組んでいる高校生たちを日本に招き、日本の高校生たちと津波の脅威と対策について学んできました。5 回目となる本年は新潟市で開催され、国内高校生 146 名、日本在住留学生 31 名、海外生徒 (オンライン参加) 74 名が 6 つのブースに分かれて、各学校の防災への取り組みについてプレゼンテーションを行い、その後ディスカッションをしました。

このサミットでの使用言語は全て英語で、杉本さんと伊藤さんはプレゼンテーションだけでなく、グループの司会も英語で行い、意見を上手にまとめていました。

伊藤沙帆さん「いろんな学校の防災活動を知ることで良い刺激になり、自分たちの防災活動を見直すことができました」

杉本わかなさん「全て英語で話すことは大変なところもあったけど、さまざまな県や国から来た高校生たちと交流できたことや防災活動を知れたことは良い経験となりました」

中学 3 年生修学旅行



中学 3 年生が 11 月 16 日から 18 日まで関西へ修学旅行に行きました。世界遺産である姫路城や金閣寺、嵐山や伏見稲荷などを観光しました。また友禅染を体験し、思い出に残る作品も作りました。

最終日にはユニバーサルスタジオジャパンで楽しみ、無事 2 泊 3 日の修学旅行を終えました。



11 月 18 日、1 年生・2 年生はアクトさくらランドサーカス、本校 4 年生は久礼でかつおのたたき体験、竜 4 年生は龍河洞と野市動物園、本校 5 年生は桂浜と高知城、竜 5 年生は SATOUMI (足摺水族館)、6 年生は全員でレオマワールド、日本語コースは須崎市浦ノ内でかつおのたたき体験、日本語コース新入生は野市動物園へ遠足に行きました。

吹奏楽部マーチングバンドフェスティバル



第 34 回高知県マーチングバンド・バントワーリングフェスティバルが 10 月 30 日、高知市東部くろしおアリーナで行われ、吹奏楽部が参加しました。人数が少ないながらも一人が何役もこなし、繊細で美しいパフォーマンスを披露しました。

高知県高等学校総合文化祭

第 24 回高知県高等学校郷土芸能大会が 11 月 12 日、県立美術館で行われました。和太鼓演奏部門では和太鼓部が、吟詠剣詩舞部門では NIPPON クラブが、来年 8 月に行われる『かごしま総文』に出場する予定です。

第 42 回高知県高等学校写真展で文化部ビュウモクシンくんが奨励賞を受賞しました。第 71 回高知県高等学校演劇コンクールが 11 月 18 日から 20 日に追手前高校芸術ホールで開催されました。本校国際演劇部は、初めての参加でしたが最優秀賞に選ばれ、12 月 25 日から行われる四国大会に出場します。



美術部 第 67 回高校美術展が高知県立美術館県民ギャラリーで行われ、文心さん (6 特Ⅰ) が特別賞を受賞しました。

ビュウモクシンくん (5 特Ⅱ)／文化部「全国大会に行きたかったです。でも賞をもらえたことは嬉しかったです。次はもっと良い賞がもらえるよう頑張ります」



山崎大陽キャプテン (5 英)／和太鼓部「最優秀賞が取れるようチーム一丸となり頑張りたいと思います」



ヌラハマリア ヨヴィタさん (6 特Ⅱ)／国際演劇部「他の学校の劇を見られたので良い勉強になりましたし、仲良くなったことがとても嬉しかったです。」



ロセイカンさん (5-E)／NIPPON クラブ「来年 8 月に行われる全国総文に向けて、一生懸命練習し、大会では部員みんなで力を合わせてしっかり詩吟を歌います！」

第76回県展美術部入選

第 76 回県展のグラフィックデザイン部門で美術部のチェヨンソンさん (6 年特進Ⅱ) とヨードプーくん (6 年 D 組) が入選しました。



第7回ジョン万次郎英語弁論大会入賞

8 月 27 日に行われた第 7 回ジョン万次郎英語弁論大会に橋本愛美さん (1-2)、バーゴイン野花らさん (4 英)、伊藤沙帆さん (5 特Ⅰ)、チンエキジョさん (6 特Ⅰ) が参加し、高校生 3 名が入賞しました。

高知県教育長賞・特別賞：伊藤沙帆
土佐ジョン万会 会長賞：バーゴイン野花ら
NHK 高知放送局 局長賞：チンエキジョ



芋ほり

10 月 28 日の 5、6 時間目に本校の中学生全員で芋掘りをしました。

生い茂ったつるを刈り取る作業に始まり、マルチをはがし、芋を掘ること 1 時間。収穫した芋はおよそ 800 本もありました。とても 1 時間では足りず、またもや 3 年生数名の力を借りて残りの芋を掘りました。

6 月の苗植えから 5 ヶ月、水をやったり、雑草を刈り、命を育てることの苦労を少しずつ感じてきました。大きな芋を手にとったときのとびきりの笑顔には、達成感と喜びがあふれていました。

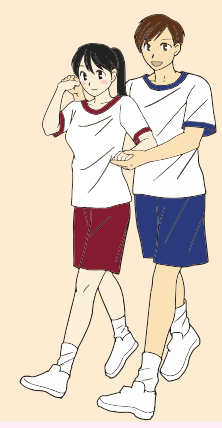
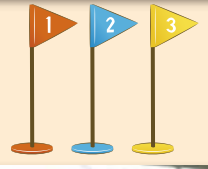
数日熟成させた後、蒸し芋にしてみんなで美味しくいただきました。



3年ぶりの体育祭



10月7日、3年ぶりの体育祭が開催されました。前日から降り始めた雨が止まず、午前中は授業を行いました。午後、開始時刻を迎えても天気は回復せず、雨の中での体育祭となりました。プログラムが大幅に変更され、短縮して行われましたが、久しぶりの行事を、生徒たちはみんな楽しんでいました。今回は無観客となったため、来られなかった保護者の方のためにオンラインでライブ配信し、200名あまりのご視聴をいただきました。



留学生入学式



10月生の留学生入学式が10月21日、堂ノ浦キャンパス研修会館で行われました。寄本校長からは「高校生33名、中学生8名、後から来る生徒を合わせて86名、全部で7か国から新しい友達がやってきます。明德での生活は日本人でも大変です。だから、みなさんのこれからの生活は簡単なものではありません。しかし、頑張れば必ず良い未来になります。不便なことたくさんあるでしょう。困ったときは先生方に相談してください。私たちは全力でサポートします。塾長先生がいつもおっしゃっていますが、明德に来たらみんな「明德人」です。国は違ってもみんな一緒だということです。これからたくさんのコミュニケーションをとってください。その時は笑顔で積極的に話をしてください」と歓迎の言葉を述べられました。新入生代表のテイユケイさん（中国）は「先生方、両親、お世話になった方々に心から感謝申し上げます。私たちは明德義塾で困難を恐れず、勇気と希望と自信をもって毎日過ごしたいと思います。真っ新たな気持ちでそれぞれの夢に向かって全力で挑戦することを誓います」とあいさつしました。また、11月21日には未入国だった10月入学の留学生33人（高校32人、中学1人）の入学式も行われました。新入生代表のオユンズルさん（モンゴル）は「明德へ入学し、夢を実現するために、大きな目標と課題を設定して、これから一生懸命がんばります。友だちと仲良く、自信を持って毎日を過ごします。みなさん、一緒にがんばりましょう」と誓いの言葉を述べました。

PLC・EAC（姉妹校）から短期留学



オーストラリア姉妹校のPLC（プレスベテリアンレディースカレッジ）女子9人、EAC（エマニエルアングリアンカレッジ）女子1人、ホームブッシュボーイズハイスクール男子1人が11月21日から12月14日、短期留学に来ました。コロナウイルスが拡大していたことからこの2年出来なかったこのプログラムが再開しました。生徒たちは、日本語の授業や日本文化を学び、高知県を観光するなどたくさんさんの経験をしました。

姉妹校PLCとますますの交流を



1994年から姉妹校提携しているオーストラリアのPLCのリンダ千葉副校長が10月4日に来校し、覚書にサインしました。今後ますますの交流を深めていきます。

【特別授業】英語コース特別授業 一橋大学清水教授講話

10月5日、5年特進Ⅰ・Ⅱ、4年特進の生徒30人が、一橋大学ソーシャル・データサイエンス教育研究推進センター・麗澤大学特任教授学長補佐の清水千弘教授の講義を受けました。講義では、AI（人工知能）やデータについての説明や、それらに伴う今後の日本についてお話がありました。「10年後の自分を考えてみる」「考えることが意義につながる」「考えた中で、不都合な真実があるかもしれないが、楽しく向き合って、自分で未来を創る勇気を持って欲しい」「理系・文系に関係なく、どのサイエンスに共感するかで進路を決めないと乗り越えていけない」などの、今後の学びにつながるお言葉もいただきました。生徒たちは90分の授業に真剣に聞き入っていました。



朝礼復活



新型コロナウイルスのため行われていなかった「朝礼」と「箸とらば」が復活しました。朝礼は2班に分かれていて、1週間ごとに交代しています。

RKC高知放送「ハイスタ」ビビる大木さん来校

RKCスペシャルWEEK「ハイスタ!High School×Star～高校生と人気芸人の高知家応援団～」のラジオとテレビの撮影が9月7日行われ、堂ノ浦キャンパスゴルフ道場から生中継されました。お笑い芸人のビビる大木さんが来校。ラジオでは、コンピュータ部の生徒が学校とゴルフ部を紹介しました。テレビでは、ゴルフ部の寄田聖悟くん（6C）、加藤菜摘さん（6特Ⅰ）、松下奏くん（3-2）とビビる大木さんが一緒に力を合わせてストラックアウトに挑戦しました。





少年と犬

(著:馳 星周/文藝春秋社)

教員/井上 正文先生(岡山県出身)

第163回直木賞作品です。2011年の東日本大震災から2016年の熊本地震までの時間と空間を、岩手で被災した犬、多聞が、ひたむきで、まっすぐな人への愛で、窃盗団の男、外国人労働者、風俗嬢、ガンで老い先短い猟師、自閉症の男児の心を救っていく物語です。最終章で男児が自分の胸を指差して、「多聞、いるんだ。ここに」と言った言葉が、汚れない純粋な子供の言葉だけに、70年ほどの人生に、多くの大切な人を失ってきた私の心にも深く染み、神が語らせた言葉として、前向きな心と、希望を与えてくれました。



心を整える

＝勝利を手繰り寄せるための56の習慣＝

(著:長谷部誠/幻冬舎)

2年2組/木原 悠真さん(高知県出身)

これは、元日本代表キャプテンであるプロサッカー選手、長谷部誠さんの「心」について書かれた本です。この本には、長谷部選手の56個の習慣が載っています。その中で僕は、「意識して心を鎮める時間を作る」という言葉が心に残りました。

人は生活をしている中でたくさんのことを考えています。その中で終わった後も心残りになることもあります。このようなことが積もっていくと、何をしている時も心が落ち着かず、不安になってしまいます。これを防ぐために、心残りなことを一つずつ解決していく「心のメンテナンス」が必要です。そして、この時間を自分で意識して作ることが大切だと長谷部選手は言っています。

実際に「心のメンテナンス」をするための時間をつくってみると、心がものすごく軽くなります。このように、だれにもできる「心についての習慣」が書かれてあります。この本を読むだけでも、日本のキャプテンにまでなった長谷部選手のことがよく分かるのでぜひ読んでみてください。そして、その習慣を試してみてください。



かがやけいのち! みらいちゃん

(著:今西及子/岩崎書店)

6年特進I/百田 汐音さん(高知県出身)

この本は実際にあったお話で、右目と後ろ足に大怪我をして捨てられていた子犬の物語です。

重傷を負った子犬が殺処分寸前で保護され、その後優しい飼い主さんと巡り会えて元気に過ごすというお話です。

このコロナ禍でペットブームが続く中、経済的困難によりペットを手放す人や安易な気持ちで飼い始めて飼育が困難になるという事例も見られています。この本はペットを飼うことは楽しいだけではなく、現実に向き合った、小さな命の大切さを教えてくれます。

文字数も少なく、絵や写真もあってとても読みやすいです。日本動物愛護協会から寄付していただいた推薦図書なので、ぜひ読んでみてください。



阪急電車

(著:有川浩/幻冬舎)

4年D組/原田 健太朗くん(東京都出身)

この本の物語は、阪急宝塚線の宝塚駅から西宮北口駅までの8駅を舞台に1駅1話の構成で描かれています。往路と復路で全16話の短編をつなぎ合わせて一つの小説となっています。

各話で登場人物も異なりますが、助け合ったりすれ違ったりしながら話のとこどこで絡み合います。婚約者を取られたOL、彼氏とうまくいかない女子大生、彼氏ができたばかりの女子高生など、電車を利用する普通の人々の日常をストーリーの軸としています。

映画にもなっている短編集で読みやすいと思うので、ぜひ読んでみてください。



余命3000文字

(著:村崎羯諦/小学館)

6年B組/安住元輝くん(京都府出身)

「余命3000文字」という題名を見て、みなさんはどのようなことを想像したでしょうか。なんだか難しそうだな、3000文字話したら死ぬのかな、いや文字を書いたらかな、というふうに想像が広がったことだと思います。

この本は、短い物語が集まってできています。「余命3000文字」という物語は1作品目です。この題名の意味が気になるという方は、是非手にとって読んでみて下さい。

私は、これまで読書をすることがありませんでした。しかし、文章力や集中力をつけるためにも読書をしてみようと思って、図書館に足を運びこの本と出会いました。今、本を読んでいない方も一度図書館に行き、自分のお気に入りの本を見つけてはどうでしょうか。きっと、新しい自分に出会うきっかけとなるでしょう。



One World

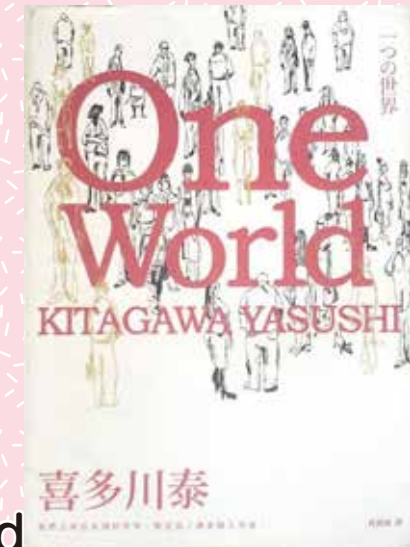
(著:喜多川泰/サンマーク出版)

4年C組/若林 優河くん(愛知県出身)

この物語は短編集で、前の登場人物が次の話でつながっているところが面白い本です。野球の物語やホワイトデーの話題、超能力を使える彼の話など、悲しい気持ちになったり、笑える気持ちになったりと、さまざまな物語が展開します。

すべての物語を通して、登場人物がどういった感じでつながっていくのかが見どころです。私がこの本を読んで思ったことは、普段何気ない毎日を送っている中で、もしかしら電車やバスの中で、前にどこかで会っている人がいたり、自分の友達の知り合いがいたりすることも多くはないということです。

この本のタイトル「One World」という言葉は、一つの世界の中でいろいろな人が出会っているという意味のフレーズになっています。人とのつながり方や接し方などがよくわかる本だと思います。気になった方は、ぜひ読んでみてください。



第38回

わたしのイチオシ!



変な家

(著:雨穴/飛鳥新社)

4年中国語/西田 有唯那さん(高知県出身)

私が紹介する本は、インターネットを中心に活躍するミステリー、ホラー作家である雨穴さんが書いた「変な家」という小説です。著者の元にある依頼主(著者の知人)から一本の電話がかかってくるところから始まります。それは、依頼主が借りることになった家の間取りが気になるので調べてほしいという内容でした。窓のない部屋や奇妙な空間があるこの不気味な間取りの変な家では、以前悲惨な事件が起こっていたこと、その事件には二人の子供が関与していたことが分かってきました。その事件の秘密は、「片淵家」という家系をたどっていくと明らかになってきます。

私は、小学生の時から学校に置かれていたホラー小説を読むことやインターネットで配信されている朗読の怪談やミステリーなどを聞くのが好きです。この本もその中の一冊です。みなさんもこの本を読んで少しずつ襲ってくる恐怖を体感してみませんか。読書嫌いの人も夢中になれると思うのでぜひ読んでみてください。



ライオンズクラブ表彰

第 51 回ライオンズスポーツ賞表彰式が 12 月 6 日、三翠園で行われ 6 人の生徒が表彰されました。

ライオンズスポーツ賞は、高知県内の中学生でスポーツに大きく貢献した団体・個人に対し、その功績を讃えて贈られるものです。本校からはソフトテニス部、卓球部、中学野球部、空手部が選ばれました。参加したのは、福見優心くん（2-2）、齋藤俊太郎くん（3-1） 藤森海斗くん（3-1）、浜田聖菜さん（3-1）、渡邊心葉さん（3-1）、木本瑠偉くん（3-2）です。



第 54 回須崎市表彰式

第 54 回須崎市表彰式が 11 月 3 日、須崎市立市民文化会館で行われ、吉村優聖歩くん（6A）、白山亜美さん（6 中）、福見優心くん（2-2）が表彰されました。

吉村くんは、第 30 回 WBCS U-18 ベースボールワールドカップ 3 位、白山さんは、2021 年世界ユース卓球選手権大会（U-19）3 位、福見くんは、JOC ジュニアオリンピックカップ大会 / 第 29 回全日本ジュニアソフトテニス選手権大会 U-14 シングルス優勝の成績を収めたことから、その業績を称えられての受賞となりました。



税の作文で表彰

全国納税貯蓄組合連合会及び国税庁が実施する「中学生の税についての作文」の表彰式が 11 月 24 日、本校理事役員室で行われ、1 年 1 組二見龍星くんが須崎法人会長賞を受賞しました。

租税教育推進校等表彰では本校（中学校）に感謝状と記念品が授与されました。

..... コロナ対策「学校対応会議」の軌跡 9

6/22

- ・校内隔離者はいない
- ・今後も感染対策の継続を要請
- ・夏のクラブ計画を作成中だが、県外の遠征については、校内の遠征規定の感染対策をとり、計画を立てることとする。遠征からの帰寮後は、抗原検査を実施する。また、寝食を他の生徒とは分離することを指示
- ・隔離、健康観察寮の寝具類のクリーニングを実施

7/6

- ・体調不良者はなく問題はないが、市内の感染者数が増加傾向につき、しっかりとした対策を要請

7/13

- ・第7波の影響で、再び陽性者が出現
- ・市内の感染者増加について、もう一度徹底した感染対策をとるよう指示
- ・夏の遠征は、十分注意し、無理な練習試合などは行わないよう指示
- ・試合期間中や外出先で、発熱等の症状がある場合は、遠征や試合はしないよう指示
- ・今後の感染状況の様子を見ながら、適宜対応する
- ・国内の感染増大。もう一度スクールバスでの対策（マスク・消毒）、教室や校舎内での対策（マスク・手洗い）、食堂での対策（黙食）の徹底を生徒に指導するよう校長より要請

7/20

- ・校内は安定している。ただ、家族が陽性のケースあり。その場合、1 週間の健康観察の措置をとる
- ・県内の感染者が多いので、気を引き締めて対策の継続、徹底を指示
- ・インターハイまでの10日以内に県外校と練習試合をする場合、抗原検査を実施するなど、高体連からの通達事項を遵守して対応するよう、インターハイ出場クラブに再度徹底を校長より要請

7/27

- ・コロナ市中感染増加につき、アクティビティの一部内容を変更して実施する
- ・コロナ感染者が多いので、対策をしっかりと継続するよう要請

8/24

- ・濃厚接触者の隔離期間の変更→7日間から5日間へ短縮
- ・留学生の入国の際、陰性証明書の提出は、明德ルールとして今後も継続
- ・9/1の始業式は分散開催とする
- ・9/1、9/2は、コロナ対策につき、午前授業とすることを決定
- ・3回目ワクチン接種の案内を生徒に通知

8/31

- ・21日から陽性者再び出現
- ・陽性者、濃厚接触者ともに、全員経過良好。全体にマスク着用の徹底を要請。
- ・9/16まで、県外遠征は禁止とする。県内も最低限の遠征にするよう指示

- ・9/10の寮替について、混成寮は感染対策の為、今回の寮替まではクラブ単位での体制とし、次回3月の寮替の際、本来の体制に戻すことを検討
- ・第2回オープンキャンパスは、学内宿泊（研修会館、川薪寮5F）で対応する。参加者と在校生は食事時間を分離、クラブとしての感染対策をとる

9/7

- ・陽性者、濃厚接触者ともにあり
- ・寮内での会話時には、マスク着用の徹底を指示
- ・女子生徒の隔離場所について、研修会館、集会室での対応など、整備を進めることを校長より要請
- ・6年生の1泊以上の外泊（オーキャン、入試）からの帰寮の対応は、日中の学校生活に制限はないが、寝食は3日間、在来の子とは別にするよう要請

9/14

- ・14日新たな陽性者あり
- ・15日に3回目のワクチン接種希望の残り生徒が接種予定。
- ・オープンキャンパス宿泊対策も考慮して、研修会館消毒の為、9/16以降女子生徒の隔離施設を変更する
- ・まだピークアウトとは言えず。油断をせず対策の継続、徹底を要請
- ・9/16までは感染対策強化期間としているが、その後の遠征については、遠征ごとに競技の特性なども含めて、個別での対応とする。その際、できるだけ実施可能となるよう協議する（買い物バス等も含める）

9/21

- ・県の感染状況ステージは「非常事態」から「特別警戒」に引き下げ（9/16）
- ・陽性者追加

9/28

- ・県の感染状況ステージは「特別警戒」から「警戒」に引き下げ（9/26）
- ・陽性者は減少傾向
- ・マスク着用は当然継続を要請
- ・発熱生徒の出席停止日数の引き下げ（7日間→5日間へ）
- ・9/26より「警戒」に引き下げられたので「警戒」の時の対応とするが、会食は禁止。また、午前か午後のみ等、短時間の工夫をする

10/5

- ・10/3以降、校内のコロナ陽性者、体調不良者はゼロに。
- ・今後インフルエンザと第8波に向けて注意（特に冬休み明け）するよう要請
- ・37.5度以上は、解熱後5日間出席停止

10/12

- ・県の感染状況ステージは「警戒」から「注意」に引き下げ（10/6）
- ・感染者、体調不良者なしの状況が続いている。
- ・「注意」に引き下げられたが、本校の制限の変更は、今後1,2週間はない。（新入生の受け入れ時期なので、しばらくは本学の対策は引き締めた状態を保つため）

ゴルフカシオワールドオープン卒業生3名出場



ソフトボールOB 日本代表

第 17 回男子ソフトボールワールドカップがニュージーランドのオークランドで 11 月 26 日から 12 月 4 日まで行われ、岡崎建斗さん（35 期生 / 現 日本男子リーグ大阪桃次郎所属）が日本代表に選ばれました。



野球部OB、マスタース野球初参戦

かつての高校球児たちが出身校別のチームで甲子園を目指す「マスタース甲子園」の高知県大会が今年初めて行われました。

11月19日に高知市で始まった大会には 13 チームが参加し、トーナメント戦のうえ、優勝チームは来年11月に甲子園球場で行われる本大会に出場します。

現在、明德チームはベスト4まで進出しています。優勝目指して頑張ってください。

琴奨菊断髪式



大相撲元大関琴奨菊、菊次一弘さん（第 24 期生）の引退相撲が 10 月 1 日、両国国技館で行われました。

断髪式には、寄本校長も参加し、髷にハサミを入れました。

今後は、秀ノ山親方として、「若い力士の育成に力を注ぎ、大相撲に貢献したい」と話していました。



フジテレビ「爆買いスター恩返し」朝青龍さん帰校



フジテレビ「爆買いスター恩返し」の番組収録のため、ドルゴスレンダグワドルジさん（朝青龍 / 22 期生）が帰校しました。

吉田塾長と懐かしい校内を歩いてまわり、遭遇した生徒たちにジュースをご馳走してくれました。相撲部の稽古を真剣に見学した後は、塾長と相撲部に焼肉義塾（焼き肉屋）でご馳走してくれました。生徒たちは爆買いならぬ、爆食いし大満足の様子でした。

募集要項

寄付の名称	明德義塾教育施設充実資金
寄付の目的	明德義塾の教育施設整備の充実
募集期間	2022年6月1日～2023年12月31日
募金目標額	1億円
寄付金額	個人寄付は1口1,000円より、1,000円単位でお願い致します。 法人寄付は任意の金額で受け付けさせていただきます。

寄付方法

お振込み(個人・法人)

専用の「振込用紙」に必要事項を記入の上、郵便局又は銀行窓口にてお振込みいただけます。

振込用紙については右記の該当欄にご記入の上、お手続き下さい。

※法人でのご寄付は専用振込用紙での受け付けとなります。

ウェブサイト(個人)

ウェブサイトでのお申込みは、クレジットカード決済、コンビニ払い、Pay-easy(ペイジー)がご利用いただけます。

スマホからは
こちら

ウェブサイトでの寄付方法

明德義塾

検索



■寄付に関してご不明な点等ございましたら下記までご連絡ください。

【お問い合わせ】 ☎785-0195
高知県須崎市浦ノ内下中山160番地
明德義塾中学・高等学校 事務局

TEL 088-856-1211 FAX 088-856-3214

【寄付金のお礼とお願い】

学園創立50周年にあたり、同窓生をはじめ関係団体の皆様など多くの方々から貴重なご寄付を賜り誠にありがとうございました。ここに、厚く御礼を申し上げます。

いただきましたご寄付につきましては、創立50周年記念事業の一環として、明德義塾教育施設充実資金として使わせていただく予定であります。また、2023年(令和5年)11月には、多くの皆様を迎えて記念式典及び祝賀会を開催する予定であります。

今後も建学の精神を基本として、私学の果たすべき使命を大切にしながら、地域に根差した学園運営に着実に取り組んでまいりたいと存じます。

大変貴重なご寄付をいただきました皆様方には、引き続きまして学園に対し、温かいご指導とご鞭撻を賜りたくお願い申し上げますとともに、皆様方のご繁栄とご多幸を心よりご祈念申し上げ、お礼の言葉といたします。

なお、募集期間は2023年(令和5年)12月31日までとなっております。引き続き募集もいたしますので、皆様何卒よろしくお願い申し上げます。